

札幌北ロータリークラブ会報



2022-23年度スローガン
「今一度、人生の目的を考えてみる」
～当たり前ではない平和に感謝して～

2023年4月10日(月)12:30 第2289回例会

本日のプログラム

クラブ奉仕委員会 プログラム担当

「新琴似屯田初代中隊長－会津藩 進撃隊－三澤毅の生涯」
三澤 英一様 卓話

会員誕生日祝

4/11 林里紅 会員

♪「我らの生業」

入会記念日祝

おりません

前回例会記録 2288回 4月3日(月) 18:30



国際奉仕委員会
赤木 道子 委員長

【司 会】 蓑輪 隆宏 会長
【ビジター】 おりません
【ゲスト】 おりません

4/3 出席報告

会員数	出席	欠席	除外	MU	%
37	20	15	2	0	57

会長報告

■皆様におかれましては、年度始めの大変忙しい中、何年かぶりの夜間フォーラムに参加していただき誠にありがとうございました。

■国際奉仕委員会担当のスリランカ報告会が実りあるものになること期待しております。皆様宜しくお願い致します。

委員会報告

◆クラブ情報雑誌担当(真室副委員長)・・・ロータリーの友の読みどころご紹介

◆職業奉仕委員会(阿部委員長)・・・4/2に行われた地区職業奉仕委員会研修会のご報告



ニコニコBOX

☺阿部弘会員：誕生日祝いをいただきありがとうございます。4月8日で87才になります。数え年でいうと88才で米寿です。少しゆっくりしたいと思うのですが、診療は続けたいし、スキーもゴルフも楽しみたいので、まだやりたいことが多く

て、悟りの境地になれないのが悩みです。

☺竹原巖会員：先週の例会で誕生日お祝いを頂き、ありがとうございます。来年の誕生日にもお祝いを頂戴出来るよう、養生します。

☺蓑輪隆宏会員：本日は年度始めのお忙しい中、例会出席誠にありがとうございました。

☺中村越子会員：本日はスリランカのお話楽しみにしています。

☺林里紅会員：本日は久々の夜間例会にニコニコです。スリランカのお話楽しみにしております。

メインプログラム 第3回クラブフォーラム



「スリランカ子ども基金 2023訪問報告」

栗原 清昭 会員

2023年2月20日～2月28日の日程でスリランカを訪問いたしました。参加者は竹原会員、中園会員ご夫妻、藤城会員、赤木会員、栗原会員の6名です。

札幌北RC「スリランカ子ども基金」事業は、新型コロナウイルス感染拡大によって対象となる学

校が閉鎖されるなどの理由から、過去4年間に亘って休止を余儀なくされておりました。

今回の訪問目的は「スリランカ子ども基金事業の再開が可能か確認すること」と、「4年間で生じた利息(約400万ルピー)の有効活用を図ること」です。

1. スリランカ子ども基金とは

1998年以來、小林博会員(国際ロータリー第2510地区パストガバナー)はスリランカにおける保健医療の向上と学校環境の改善に取り組んでこられました。

2014年、小林会員は総額800万スリランカルピー(約570万円)を当クラブに寄付され、これを基にスリランカ子ども基金は設立されました。

この基金を姉妹クラブであるコロombo RCに預託し、当地で毎年生み出される利息を活用して学校環境の改善に役立てることといたしました。これまでスリランカ南部の7校に対し子どもたちの健康増進や教育効果促進を目的として、1校あたり年間5万ルピーの「インセンティブファンド」を贈呈しております。

「インセンティブファンド」は、健康増進や教育効果促進という目標の範囲内であればその用途は問わず、それぞれの学校の子どもの自主判断に任せます。その効果として子ども達に自主自立の気持ちが芽生え、同時にそのように成長する子ども達の姿を見て親が心を動かし、やがて地域全体が変わっていくことを期待するものです。

2. スリランカの現状

新型コロナ感染拡大の影響により観光などで得られる外貨を獲得することができず、事実上デフォルトとなりました。経済破綻によってスリランカルピーは4年前に比較して約4割下落しており、エネルギーや物資を輸入することが困難な状況にあります。

3. 学校訪問 2023

コロomboから30~40km圏内の公立学校10校を訪問し、トイレを主体とする衛生施設の整備を目的として実態調査をおこないました。また、学校職員のみならず男女別に生徒への聞き取り調査も実施いたしました。



4. 学校訪問で知りえた現状

どの学校にも共通する問題もあれば、先生や地域住民が積極的に衛生環境の改善に取り組んでいる事例もありました。以下、学校訪問で知りえた現状です。

どの学校も行政からの予算が不足しており生徒数に対してトイレが足りない
スリランカルピーの下落による資材高から衛生設備の建設費増大
帰宅までトイレを我慢する子どもがいる
使用不能のトイレがあるが、修繕がなされていない
手洗い場の無い学校もあり衛生上問題
校長はじめ、教員がお金を出し合って衛生設備の維持管理をおこなっている学校もある
施設や設備の維持保全には保護者や地域の協力得ることが重要、校長の資質による影響大

5. コロombo RC との話し合い

学校訪問後、コロombo RCと事業に関する話し合いを行いました。この席で先方から、グローバル補助金を活用した学校における「水と衛生プロジェクト(WASHプロジェクト)」の提案がなされました。

グローバル補助金の最低予算は3万ドル以上ですが、札幌北RCスリランカ子ども基金から400万ルピー(現在約12,000ドル)、スリランカ、モルジブ3220地区DDFより10,000ドルを拠出することによりDDFの80%をWFから得ることになります。3220地区からのDDFは当日同席いただいたプドゥ RID3220地区ガバナーからの提案でもあります。

この提案を私たちは札幌に持ち帰ることとし、札幌北RCとしての事業試案を組み立てることといたしました。

帰国後、RID2510 地区から 10,000 ドルの DDF も予算立てが可能な状況であるとの情報を得ました。グローバル補助金申請書を早急にまとめる必要があります。



6. グローバル補助金事業札幌北 RC 試案

[プロジェクトの使命]

生徒も教職員も、健康長寿のための衛生の重要性と必要性を実際に認識する。スリランカの「アユボワン」

[プロジェクトの目標とタイトル]

清潔な衛生施設「トイレと水」プロジェクト

[ビジョン]

- 1 生徒は、何の困難もためらいもなくトイレを利用できる
- 2 生徒は、トイレをいつでも清潔に保つことができる
- 3 生徒は、トイレを使用した後、自分の陰部と手を洗うことができる
- 4 生徒は、水と衛生設備がすべての人の健康的な生活にとって重要な要素であることを認識することができるようになる
- 5 生徒は、トイレと水の両方を清潔に維持し、維持するためにコミュニティを励まし、行動することができる



報告後、グループディスカッションが行われました。

会務報告

①次週例会 4 月 10 日はクラブ奉仕プログラム担当例会です。三澤英一様をお迎え致します。皆様のご出席宜しくお願い致します。

北クラブ情報

例会日 毎週月曜日 12:30

例会場 ロイトン札幌



札幌北RCホームページ
<http://www.sapporo-north.jp/>

- * 4 月 17 日 (月) 夜間【クラブ情報】ロータリー情報 第 1 回次年度クラブ協議会
- * 4 月 24 日 (月) 休会 (昭和の日の週のため)
- * 5 月 1 日 (月) 休会 (祝日のある週のため)
- * 5 月 8 日 (月) 【青少年奉仕】北海道医療大学 永易教授 卓話

他クラブ予定表

11日(火)

札幌西 北海道食品流通(株)川村智也氏 卓話
はまなす 会員卓話 佐藤 会員
札幌清田 休会(理事会裁量) ※受付なし
大通公園 なし

13日(木)

札幌東 会員卓話
札幌西北 「骨格のズレとダイエット」ゲスト卓話

15日(土)

札幌手稲 会員増強プログラム

12日(水)

モーニング 岩見沢RC会長 西方洋昭氏 ゲスト卓話
札幌 イニシエーションスピーチ(11)
真駒内 新会員卓話
新札幌 株式会社 Office TR-One 代表取締役美山氏 卓話

14日(金)

札幌幌南 ろうあ者卓球日本代表 木村亜美氏 卓話

17日(月)

札幌南 社会奉仕委員会 支援金贈呈式

※予定は変更になる可能性があります。また、ビジターで他クラブへ行かれる際はご連絡が必要な場合があります。※